

北海道立市民活動促進センターは、地域社会のニーズに的確に応えようとするNPOなどの道内の市民活動を応援しているセンターです。

特集

NPO活動と「CSR」

「CSR」という言葉を見たり聞いたりしたことはありますか？
今回は、NPO活動と無関係ではないこの「CSR」について、
一緒に学びましょう。

【「CSR」って何だろう？】

CSR (Corporate Social Responsibility) とは、一般的に「企業の社会的責任」や「企業の社会に対する責任」と訳されていることが多いようです。

営利を目的とする企業がNPOとどう関係があるの？と思われるかもしれませんが、NPOと企業との事業での協働や、企業から寄付金・助成金などの支援など形態はいろいろあります。

今回はNPO活動と切り離すことのできないこの「CSR」について考えてみましょう。

『「CSR」は企業の「社会貢献活動」のことでしょうか？』と理解されている方も多いのですが、「社会貢献活動」とは、社会における責任の一つにすぎず、それがすべてではありません。

そもそも「CSR」とは海外から来た言葉ですが、日本企業は今までも「製品の提供」、「雇用の創出」、「税金の納付」、「メセナ活動（文化・芸術活動に対する支援）」など、社会に対してさまざまな貢献を通して、社会的責任を果たしてきました。そして最近では、さらに解釈や範囲などが変化してきているようで、社会が持続可能な社会であるためには、今まで以上に「企業が社会の持続的な発展に寄与することが必要だ」という認識が広まってきました。

つまり、「CSR」とは、「企業もまた、社会

を構成する一部として存在する以上、その社会の発展に対して果たすべき責任を負っている」というものです。

国際的な企業活動の拡大や環境問題の深刻化、金融・食品・不動産など相次ぐ企業の不祥事発覚などにより、企業の評価基準としての重要性が注目されるようになり、多くの企業で「CSR」を意識した企業活動をせざるを得なくなってきた、というのが近年の状況のようです。

【「CSR」の取り組み例】 1

環境問題

自然保護・生物多様性・気候変動(CO₂) etc.

人権問題

障がい者・高齢者・外国人

海外における児童労働・強制労働 etc.

労働問題

女性・交渉権・福利厚生・ワーク・ライフ・バランス・労働組合・内部告発 etc.

地域・社会

防災・防犯・教育(子育て～ニート)・健康・文化 etc.

様々な地域・社会の課題

その他 取引等事業活動全般

+ 製品の安全性・サービスの適確性

+ 法令遵守

+ 企業統治(リスクマネジメント)

(次頁へつづく)

NPO活動と「CSR」

こうした「CSR」の考え方は、企業に限らずあらゆる組織へと拡大しつつあります。ISO（国際標準化機構）が「CSR」の国際規格づくりとして現在策定中のISO26000においては、企業（Corporate）だけでなく、全ての組織に関わる規格であるべきだとして、「CSR」の「C」を除いて「SR（社会責任）」と呼ばれているのはそのため、どんな組織であっても、社会の一員としてこうしたことを考えましょう、ということが求められつつあるようです。

こうした考えによれば企業が社会責任を求められるのと同様に、NPOに対しても企業と同様の社会責任（SR）が求められるのです。公益を目的に継続的に活動するNPOは、企業以上に責任は重いことを自覚し、果たす努力をしなければならぬのです。

【企業の社会貢献活動】

「CSR」の一環として捉えられている社会貢献活動について、考えてみましょう。

企業の社会貢献活動の形態としては、「寄付、自主プログラム（NPOとの協働他）、社員の社会参加支援」の3つに大別され、多くの企業はこの3つを組み合わせる多彩な活動しているようです（2）。

社会貢献活動の事例の一部を紹介します。

- ・ NPOや社会福祉施設などへの寄付
- ・ 募金活動
- ・ 賞の授与、団体への助成
- ・ 会議室などの施設や中古物品の提供
- ・ 公園や海岸、河川、道路等の清掃活動
- ・ 植樹、植林活動
- ・ フォーラムやセミナーの開催
- ・ NPOとの協働事業

- ・ 講師の派遣
- ・ インターンシップの受入
- ・ 地域イベントへの参加
- ・ 社内でのボランティア情報提供

その他、それぞれの企業が独自に工夫を凝らしたプログラムで、社会貢献活動をしています。活動の主体は、企業単独、NPOとの協働、企業間連携、企業自らがNPOを設立するケースなど、さまざまな形態があるようです。

【NPOと企業との協働】

NPOの活動分野は、企業の社会的責任の分野と多くの点で共通している部分もあるので、これからは、ますますNPOと企業との協働も増えていくと考えられます。

協働は、お互いが自立し対等な関係をつくるのが大切です。NPOと企業との協働によって、それぞれが持つノウハウや専門性、情報などから得られる成果もたくさんあるでしょう。

今後はNPOも企業も、さらに社会の問題解決を図っていくことをめざし、発展していくことが求められます。

今回は、「CSR」をテーマに、ほんの一端を紹介しましたが、今現在もさまざまな解釈、議論がされており、その内容も今後一層進化し、豊富になっていくと思いますが、市民活動をしている皆さんの参考になればと思い特集いたしました。

なお、当センターでは、今年度に北海道内の企業を対象に社会貢献活動の現状や事例などに関するアンケート調査を実施する予定です。調査結果がまとまり次第、誌面でご紹介する予定です。

【参考文献】

- 1 「CSRに効く！企業&NPO協働のコツ」 編著：パートナーシップ・サポートセンター 岸田真代
- 2 「CSR時代の社会貢献活動」 編著：日本経団連社会貢献推進委員会
「NPOマネジメント vol.52」（2007.12 発行）：IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]

センターインフォメーション

今年度上半期に開催した講座等を一部紹介します。

「NPO実務講座」

～基礎・組織運営編 / 法人設立手続編～

今年度6回開催する「NPO実務講座」は、6月13日(金) 9月6日(土)に開催し、「基礎・組織運営編」は講師に東田秀美さん(市民活動スペースアウ・クル代表、NPO法人旧小熊邸倶楽部理事長)を「法人設立手続編」は井川智さん(北海道環境生活部生活局道民活動文化振興課主査)をお招きし、それぞれ「市民活動の基礎知識から組織づくりの入門編」と「NPO法人の制度や設立に必要な要件、手続き、書類作成のポイント」などについて学びました。参加者からは「NPOとNPO法人との違いが良くわかった」「非常に分かりやすく、不明な点も解決できました」との感想がありました。



「市民活動協働開催講座」

～札幌公共交通おでかけ講座～

8月1日(金)に「NPO法人交通倶楽部ゆうらん」と共催で、「札幌公共交通おでかけ講座」を開催しました。講師の松本公洋さん(NPO法人交通倶楽部ゆうらん理事長)から公共交通が環境負荷低減に果たす役割や札幌市内の全バス路線を表示した「なまら便利なバスマップ」の活用方法などについて学びました。



「市民活動ミニフェア」

～市民活動パネル展～

7月24日(木) 25日(金)の2日間、道内で活動している市民活動団体を紹介するパネル展を開催しました。来場者によるパネルの投票結果は次のとおりです。おめでとうございます。

パネル出展団体数：46団体

投票数：206票

入賞団体

第1位：訪問型フリースクール漂流教室(18票)

第2位：NPO法人 SIRIUS(15票)

第3位：NPO法人 藻岩山きのご観察会(12票)



第1位：訪問型フリースクール漂流教室

「市民活動ミニフェア」

～ふれあい広場・てらこ屋の活動報告展～

8月29日(金) 30日(土)の2日間、こどもの居場所作りとして工作教室や手芸教室をメインに活動している「てらこ屋ひ・ふ・み」が、日頃の活動の様子の写真や子ども達の作品の展示会、工作体験ミニ講座を開催しました。

「市民活動ミニフェア」

～デジタルアート展～

7月9日(水)～11日(金)の3日間、シニアが集まりインターネットを活用して、豊かなシニアライフを過ごすための活動をしている「NPO法人シニアネット」が、パソコンを利用して画像を自由に創作した作品(静止画像、動画作品)の展示会を開催しました。

センターインフォメーション

参加者
募集中

当センターで開催する事業のお知らせ

市民活動スタッフ養成講座

「NPO・NGOスタッフトレーニング2008」

市民活動のスタッフとして活動するための知識とノウハウを習得することを目的にした本格的な講座です。

是非、ご参加下さい。

日 時：全5日間（各10:00～17:00）

10月26日（日）

11月1日（土）

11月8日（土）

11月15日（土）

11月16日（日）

場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

対象者：今後、市民活動団体（NPO・NGO）のスタッフとして活動していきたい方や市民活動団体の設立を考えている方、すでに活動している方など

内 容：（予定）

- 1日目：NPO・NGOを良く知ろう（概論）
- ・自分にとっての課題を見つけよう
 - ・市民活動って、なんですか？
 - ・NPOを取り巻く現況と今後
- 2日目：現場のスタッフの声を聞こう（市民調査の手法）
- ・市民調査の意義と実例・インタビューの手法
 - ・NPOスタッフ3名による事例発表と聞き取り
 - ・インタビューのまとめと発表
- 3日目：活動のマネジメントを学ぼう（組織運営）
- ・活動団体の運営に必要な資源、事業展開とは
 - ・人的ネットワークの大切さを学ぶ、コミュニケーション力を高めよう！
- 4日目：活動をデザインしよう（活動計画）
- ・合意形成
 - ・ミッションに沿った計画と必要な資源の集め方
 - ・活動プランの発表と評価
- 5日目：活動を広く知ってもらおう（企画・広報）
- ・活動の趣旨にそったイベント企画書を作ってみよう
 - ・PRチラシを使ってプレゼンテーション
 - ・講座全体の振り返り

参加料：2,000円（全5日分）

定 員：20名（応募多数の場合は選考あり）

道民カレッジ連携講座

NPO実務講座

「基礎・組織運営編 / 法人設立手続編」

この講座は、市民活動を展開していくための基本的な知識や手法について学ぶ「基礎・組織運営編」とNPO法人設立に必要な手続きや書類作成に関する知識の習得を図る「法人設立手続編」とがあります。

日 時：「基礎・組織運営編」11月4日（火）

18:00～19:45

「法人設立手続編」11月5日（水）

18:00～19:45

場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

対象者：市民活動に関心のある方、すでに活動している方など

内 容：「基礎・組織運営編」

講師：東田秀美さん

（市民活動スペースアウ・クル代表、NPO法人日小郷復興協議会理事長）

講義：「NPOとNPO法人の基礎知識

（メリット・デメリット他）」

「組織づくりの入門編」など

「法人設立手続編」

講師：井川 智さん

（北海道環境生活部生活局道民活動文化振興課協働推進グループ主査）

講義：「申請に必要な手続き」

「書類作成の留意事項」など

参加料：各300円（資料代）

定 員：各20名（先着順）

道民カレッジ連携講座

当センターでは、市民活動に関する疑問・質問に相談員がお答えしています。

「NPOって何ですか？」「ボランティア募集の情報を知りたい」「助成金に関する情報を得るにはどうしたらいいの？」「市民活動団体の運営についてアドバイスを受りたい」「現在の活動団体をNPO法人化したい」など市民活動に関わる相談に相談員がお応えします。

直接来所、電話、FAX、メールなどで、お気軽にご相談下さい。

・TEL：011 261 4440

・FAX：011-251-6789

・E-mail：center@do-shiminkatsudo.jp

・URL：http://www.do-shiminkatsudo.jp

編集後記

紅葉が見られだんだん冬の足音が近づいて来るのを感じる季節になってきました。体調を崩さないようがんばりましょう。（ヤ）

各講座の概要や申込等、詳しくは当センターホームページをご参照下さい。

他にも助成金情報なども公開中です。

<http://www.do-shiminkatsudo.jp/>